



幼児教育・学校教育に携わるすべてのみなさんへ

幼保小接続期カリキュラム実践事例集を刊行します

幼児期の教育と小学校教育の互いのよさを取り入れて、一人ひとりの育ちや学びをつなぐ「接続期カリキュラム」の推進に向けて、今と未来を生きる子どもたちにとって必要な学びとは何か、どこに価値をおいて子どもたちと向き合えばいいのかを考え、共に語り合えるよう「実践事例集（第8集）」にまとめました。ぜひ、ご覧ください。

横浜版接続期カリキュラム実践事例集

第8集



～今と未来を生きる子どもの育ちと学びをつなぐ～

著名な識者の寄稿文を掲載

東京大学名誉教授 汐見稔幸氏
國學院大學准教授 吉永安里氏

監修 國學院大學 准教授 吉永安里
横浜市子ども青少年局 子育て支援課
幼保小連携担当

<配付・購入について>

- (1) 市内の幼児教育施設・市立小学校・市立特別支援学校・児童相談所・区福祉保健センター・図書館等の関係機関に1冊ずつ配付します。
- (2) 横浜市庁舎3階 市政刊行物・グッズ販売コーナーで4月1日より販売¥500-

「よこはま☆保育・教育宣言」に基づく事例として、3歳児～小学校5学年までの計15実践を紹介！
遊びの中の「学び」を明確にお伝えしています！



4月、子どもたちは、遊びの中でいろいろなことに興味をもち、アイデアが溢れていた。しかし、アイデアややりたい気持ちはあるけれど、あと一歩が踏み出せない、そんな場面が多々あった。保育士は、その背景にある気持ちはなんだろう？と考え、子どもの「やってみたい」気持ちに寄り添った環境づくりに取り組んだ。

竹之丸保育園 保育士 清 智博



このように、なりきり遊びを楽しんでいく中で、環境や友達との関わりを深め、友達と一緒に行うごっこ遊びや、劇ごっこへと活動が広がっていった。そして、「やってみよう」という必要のないまま、主体的に遊びあいていく。

遊び、探究する子どもの姿や表情を、フルカラーでお届けしています！

(販売に関するお問い合わせ) 市政刊行物・グッズ販売コーナー 045-671-3600

(内容に関するお問い合わせ) 横浜市子ども青少年局 子育て支援課 幼保小連携担当 045-671-3731